

USB メモリからのブート方法

山下システムズ株式会社

技術開発部 谷津倉 2010/06/08

写真 1 に示す Silicon Power 社 USB メモリと PQI 社 CF カードを AS-3528G に装着し、USB メモリからシステム起動ができるようにする方法について説明します。

CF カードは IDE Channel 0 Master に設定するために、AS-3528G のジャンパポスト P1 をショートしておきます。



写真 1

1) 電源を投入したら、DEL キーを押して、CMOS セットアップ画面に入ります。Standard CMOS Features を選択します。

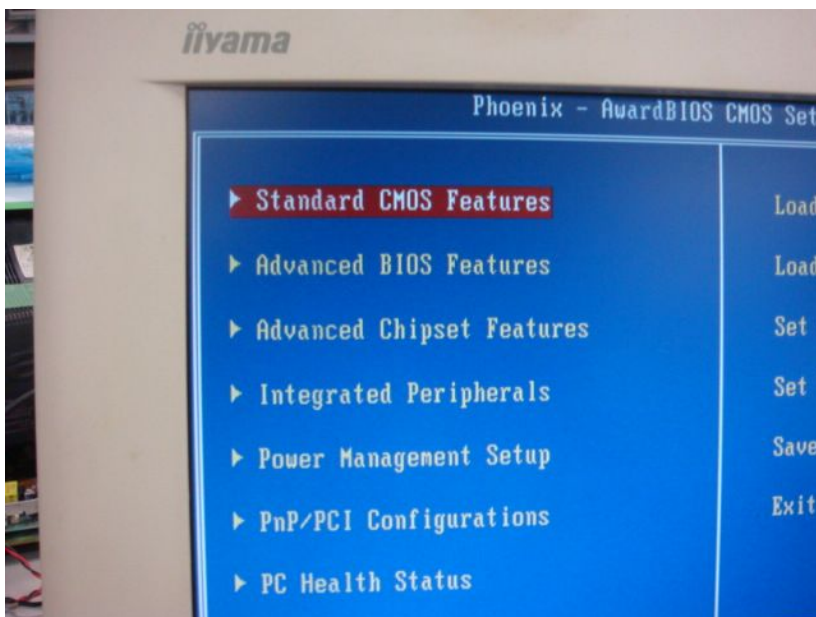


写真 2

2) IDE Channel 0 Master が[PQI Industrial CF Card]になっていることを確認します。

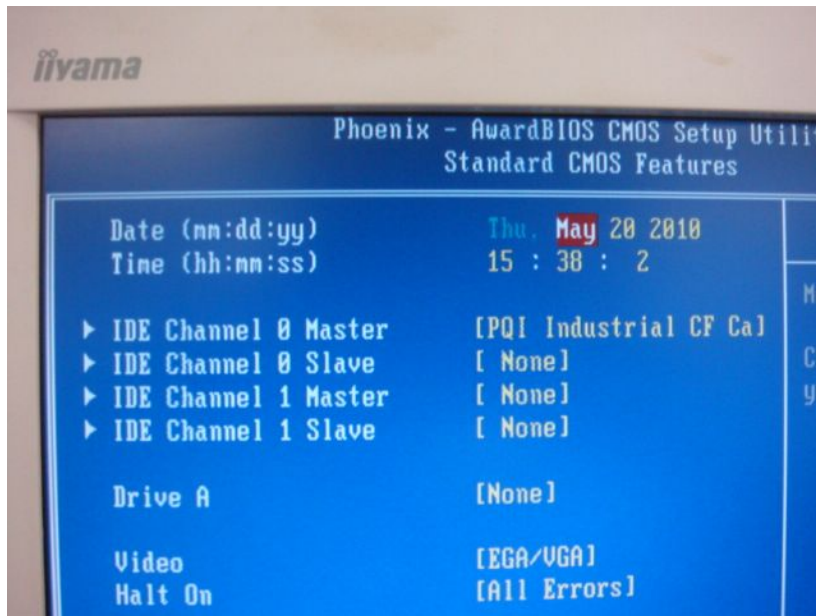


写真 3

ESC キーを押して、メインメニューに戻ります。

3) 次に、Integrated Peripherals を選択します。

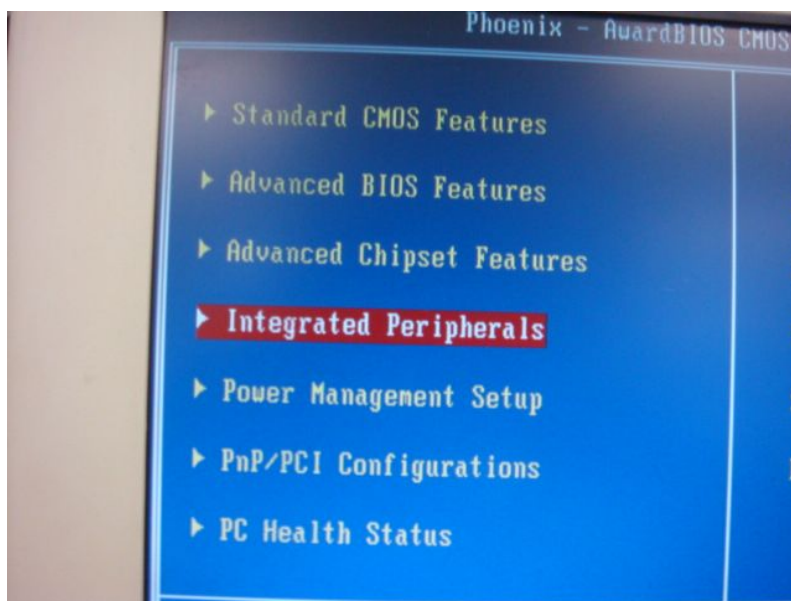


写真 4

4) USB Device Setting を選択し、Enter を押します。

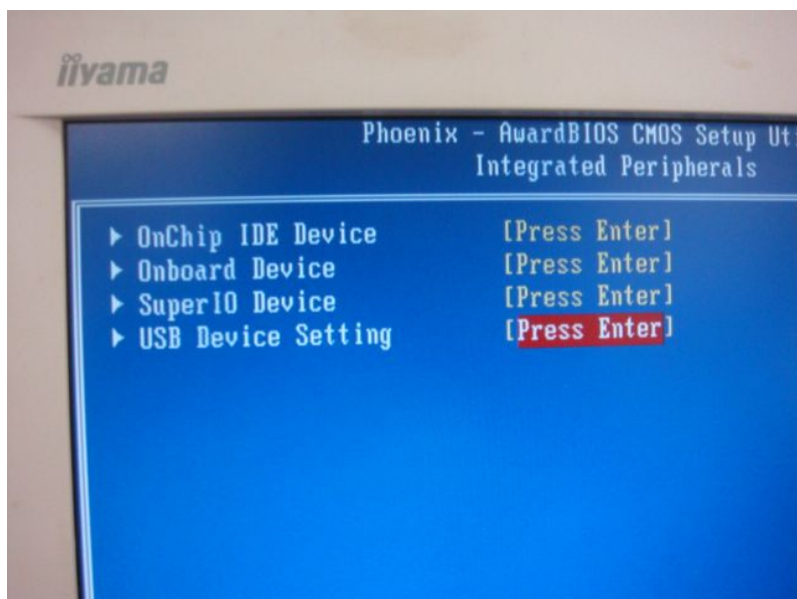


写真 5

5) USB Storage Function が [Enabled]になっていることを確認します。
また、USB Mass Storage Device Boot Settingに silicon -power の USB メモリが認識されているのを確認します。[Auto mode]になっています。



写真 6

6) silicon -power が[Auto mode]になっていますが、明示的に[HDD mode]にしてもよいです。

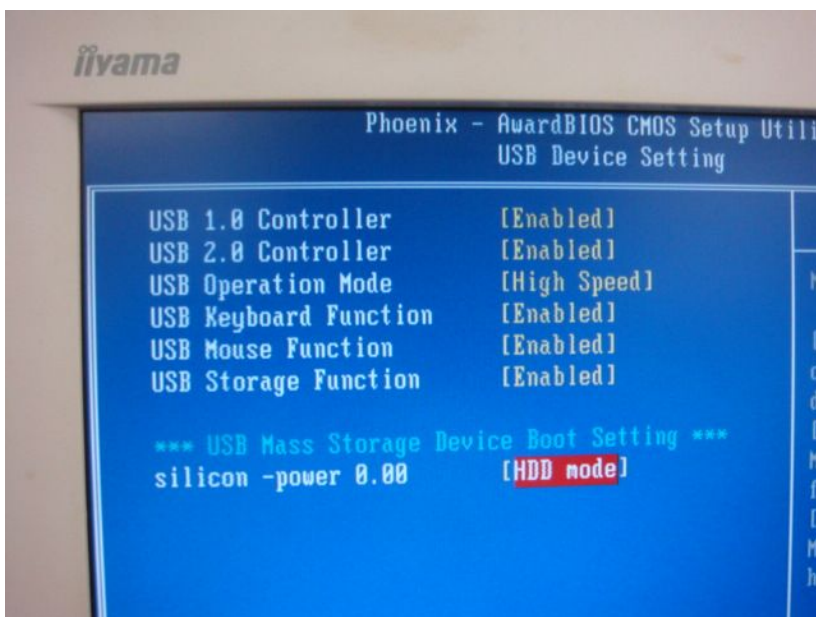


写真 7

ESC キーを押して、メインメニューに戻ります。

7) Advanced BIOS Features を選択します。

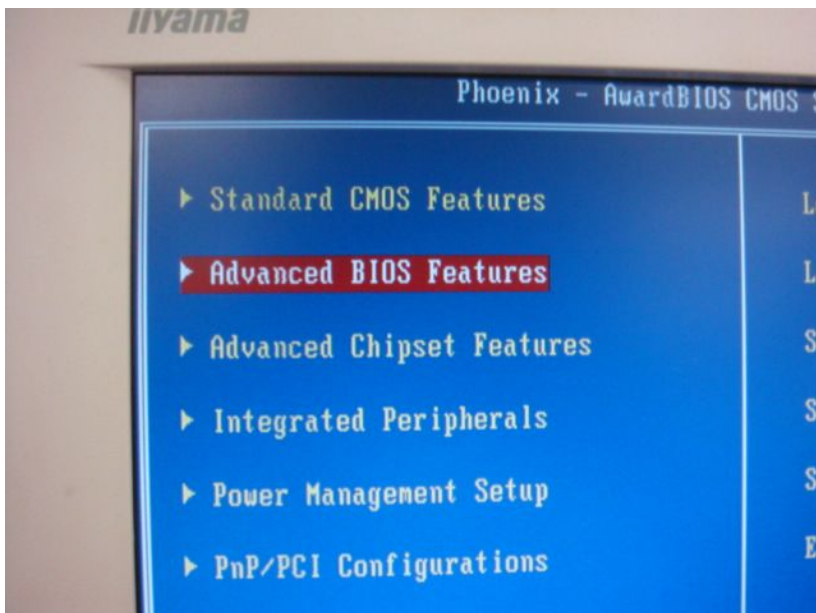


写真 7

8) Hard Disk Boot Priority [Press Enter]を選択します。

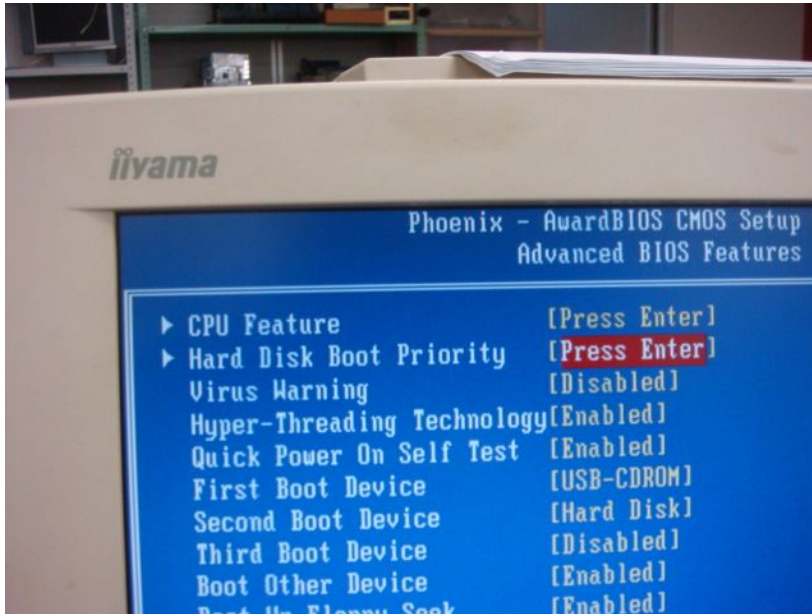


写真 8

9) Hard Disk Boot Priorityは、以下の順番になっており、CFカードが優先になります。

1. Ch0 M. : PQI Industrial CF Card
2. USB-HDD0 : silicon -power

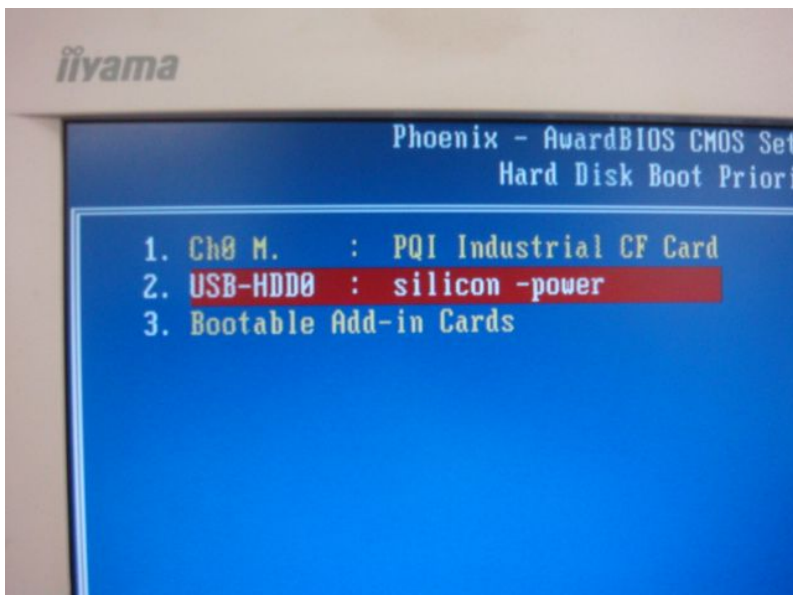


写真 9

“PgUp” ,PgDn” ,” +” ,” - “キーを使って、Priority を変更することができます。

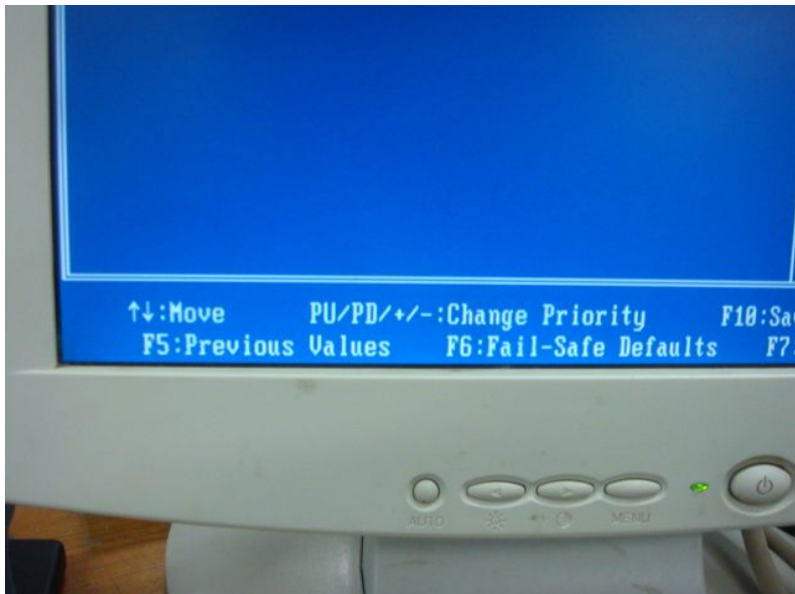


写真 1 0

10) Hard Disk Boot Priority を変更することで、以下の順番になり、USB メモリが優先になります。

1. USB-HDD0 : silicon -power
2. Ch0 M. : PQI Industrial CF Card

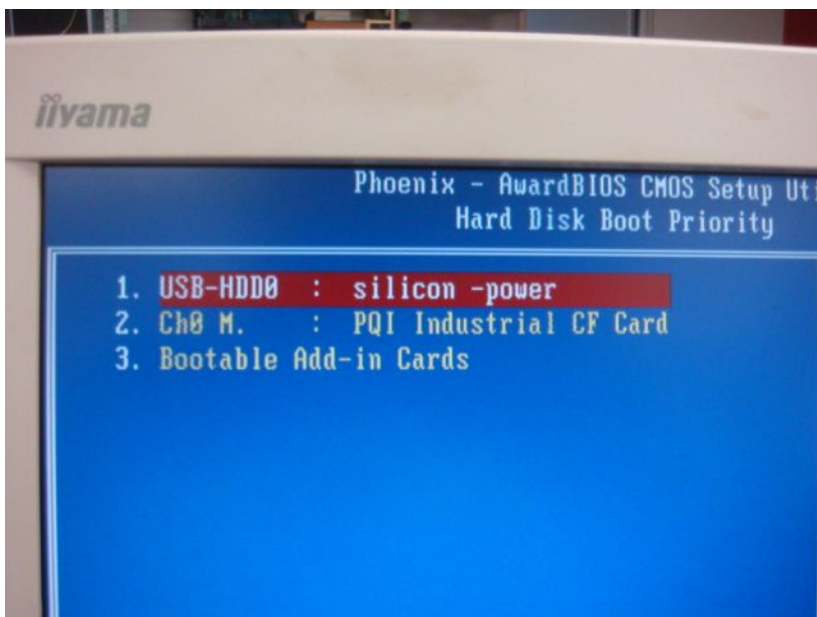


写真 1 1

11) F10 キーを押して、CMOS セットアップをセーブして、BIOS を再起動させます。

12) これで、AS-3528G は USB メモリから起動します。

注意： AS-3528G のジャンパポスト P1 をオープンすると、CF カードは IDE Channel 0 Slave になり、BIOS は自動的に写真 9 の順番から写真 11 の順番に変更し、USB-HDD から Windows XP を起動できます。このとき、C ドライブ：USB-HDD、D ドライブ：CF カード
しかし、Linux では、IDE Master/Slave を明確に区別しますから、この方法で、優先順位を変更すると、ブートができないことがあります。

以上。